

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		成年後見制度利用支援事業費[成年後見制度利用支援事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	障害者福祉費	事業番号	12	
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	障害福祉 課 障害福祉					係	課長名		大法 努			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 3			
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書 (ページ)	55			
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 ・ 知的障害者及び精神障害者					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 市内の知的障害者・精神障害者数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・ 成年後見が必要な人に適正に成年後見が受けられるよう支援することによって、障害者の権利・財産を保全し、安定した市民生活を送れるようにする。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 申し立て及び助成者数／市内の知的障害者・精神障害者数						
	③ そのために何をしましたか。 ・ 知的障害者・精神障害者を対象に、成年後見の申立てをする者がいない場合、市長が申立て等を行う。 ・ 成年後見制度の申立てに要する費用（鑑定費用、登録手数料。後見人の報酬の全部又は一部）を助成する。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 申立て及び助成者数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	1,546	1,640	1,830						
	成果指標	②の数値	%	0.0	0.0	0.16						
	目 標	②の目標値										
目標値設定の考え方 対象者に対し適正に事業を執行する。申請に対して適正に制度利用させる事業であることから、「目標値」の設定についてはなじまない。												
3 経費	活動指標		③の数値	人	0	0	3					
	事業費（実績）		円	0	0	25,610		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000 円 時間単価は、 4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	11,610						
		特定財源	円	0	0	14,000						
	(うち受益者負担)		円	0	0	0						
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	412,200	415,500	419,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	412,200	415,500	444,610							
4 環境変化等	(1) 開始年度		17 年度									
	(2) 環境の変化 特になし											

事業名称	成年後見制度利用支援事業費[成年後見制度利用支援事業]			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係 課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・市長申立てが必要な方は少なく、平成22年度に初めて事例が発生した。 ・平成24年4月の障害者自立支援法改正により、成年後見制度利用支援事業が地域生活支援事業の必須事業となった。後見人等費用の助成について、市長申立ての者以外にも助成する方向が示されたが、当市では市長申立て分についてのみ助成している。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	成年後見制度の周知			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	社会福祉協議会内にある「あんしん東大和」主催の会議に出席し、成年後見制度の情報収集に努めた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	成年後見制度の周知			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 障害者福祉の推進			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 引き続き「あんしん東大和」主催の会議に出席して情報収集を図るとともに、成年後見制度法人後見支援事業の所管部署と連携して、関係機関等に成年後見制度の周知を行っていく必要がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	周知した上で当該制度を活用していくことが望まれるが、手続に必要な書類等が膨大であり、必要としている者が迅速に利用できない点がある。			